

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所の放射性物質の定期測定における
微量な放射性物質の検出について（続報）
＜第1四半期測定結果の新潟県技術連絡会議での評価＞

平成23年8月16日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所では、環境試料分析*として、発電所近傍で捕集した大気中の埃や海水、土壌、松葉などの環境試料の放射能測定を定期的を実施しております。これまでに当社福島第一原子力発電所の事故の影響で大気に放出されたごく微量のセシウムやヨウ素などの放射性物質が検出されておりますが、これまでの測定値は、周辺環境へ大きな影響を与えるものではありません。

(平成23年4月13日、5月13日、26日、6月14日、23日お知らせ済み)

当所は、新潟県技術連絡会議において、第1四半期における環境試料の測定結果について報告しました。報告内容を評価いただいた結果、いずれも当所の影響は見られず、また、検出された人工放射性物質による人体への影響はないとの評価をいただいております。

測定結果及び評価結果については別添のとおりです。

今後も環境試料について、定期的な放射能測定を継続して実施してまいります。

以 上

添付資料1：[平成23年度柏崎刈羽原子力発電所周辺環境放射線監視調査試料から検出された人工放射性核種について](#)

添付資料2：[平成23年度第1四半期の監視結果（速報値）に関する評価会議委員からの意見及び評価](#)

*** 環境試料分析**

当所では、「原子力発電所周辺地域の安全確保に関する協定書」（通称「安全協定」）に基づき発電所の放射性物質の影響を調査するため、定期的に発電所近傍の海水や土壌、松葉、牛乳などに含まれる放射性物質について調査を実施している。